

杉戸町々々拾遺録

温古知新
杉戸の
歴史こぼれ話
第20回

すまいの原型その4 ザエマージェンス

さて、今回は、竪穴住居の建築についてです。このプロセスは、単なる「家を建てる作業」ではなく「計画」「実行」「管理」の各フェーズを持つ、きわめて高度なプロジェクトです。この点については、すでにお話しした部分もあるかと思いますが、今回は、この建築プロセスが持つ二面性、すなわち「還元主義」的な計画性と、「創発」(個々の要素の相互作用から、部分の総和を超える予測以上の全体性が生まれること)的な現場力という二つの視点から、改めて整理し、考察したいと思います。

1 計画(還元主義的アプローチ)

プロジェクトの成功は、まず「段取り」にかかっています。木材の調達と乾燥(時間)、作業中の食料の備蓄(資源)、労働力の確保(人玉)といった事前の資源管理です。これは、全体を要素に分解して管理する還元主義的なアプローチ(プロジェクトマネジメント)と言い換えることができます。労働力に食料を分配できる「資源の貯蔵・管理システム」というバックボーンは、個々の家族を超えた、集落全体の組織的な計画性(管理構造)が存在したことを示唆します。

2 実行(創発的アプローチ)

一方で、実際の建築現場は計画通りには進みません。専門職や厳密な指示系統がない中で個々人が自律的に状況を判断し、互いに関わり合いながら作業を進める必要があります。ここに「創発」が起こります。作業者がその場に生じた問題を解決し、計画にはなかった効率的な工法が生まれることもあったはず

3 結論(計画と創発の融合)

しかし、竪穴住居建築における最大の「創発」は、「社会的な結束力」の発現です。大規模な共同作業をやり遂げる(相互作用する)ことを通じて、単なる労働力の総和をはるかに超える、「ムラとしての一体感」や「強靱なコミュニティ意識」が創発したと考えられます。つまり竪穴住居の建築とは、緻密な「計画(還元主義)」と、建築現場で生まれる「結束(創発)」が補完しあって初めて可能になる、高度な社会活動だったとも考察することができます。

(社会教育課 町史・文化財担当編)

わが家のアイドル

掲載された方には**特製カード**をプレゼント！
皆さんのステキな1枚をお待ちしています！

詳しくは
こちら▶



こちらから
簡単応募！▶



P25にも「わが家のアイドル」があります！

おきの
萩野 リッキー
ちゃん
令和2年4月25日生



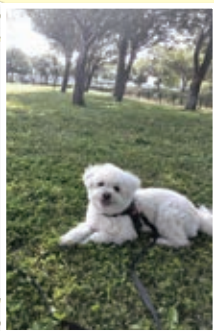
家1番の
やんちゃだけど
甘えん坊で
いつでも
しっぽピン！

かみいで
上出 ココ
ちゃん
令和6年10月10日生



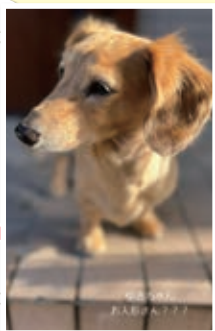
最近
引っ越してきた
パピーです！
人間大好き！
ながよくじてね！

こじま
小島 くらた
ちゃん
令和3年4月20日生



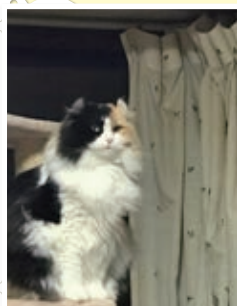
お散歩大好き
やんちゃな
男の子です

たなか
田中 ゆき
ちゃん
平成27年12月10日生



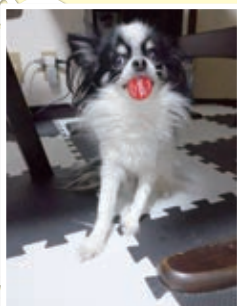
甘えん坊な
ゆきちゃん
最近ダイエット中

ふくしま
福島 ティナ
ちゃん
平成31年3月21日生



夫婦
二人暮らしの
娘です

よしだ
吉田 はな
ちゃん
令和2年8月4日生



内弁慶の
はなちゃん

※大好評につき現在多くのご応募をいただいております。
掲載は受付順となりますので、応募から掲載までお時間がかかる場合があります。ご了承ください。



UD FONT
by MORISAWA

読みやすい書体であるユニバーサルデザイン
(UDフォント)を使用しています。



杉戸町
ホームページ



メール配信
「すぎめー。」



広報スマホ版
マチイロ



杉戸町
公式LINE



杉戸町
公式X